

(発達障害全般・共通)

※各設問の回答について、発達障害もしくはその可能性があると思われる生徒・学生の明確な基準を設けることが困難なため、回答される方のご判断で構いません。

【A 調査票ご記入者についてお聞きします】

問1 本調査票を記入されている方ご自身について伺います。当てはまるところに○をつけて下さい。

職種	1)管理職 2)特別支援教育コーディネーター 3)教育カウンセラー 4)その他()
発達障害児者の支援に関わった経験年数	1) 6ヶ月未満 2) 1年未満 3) 1年以上3年未満 4) 3年以上5年未満 5) 5年以上10年未満 6) 10年以上 7) 関わった経験がない

【B 発達障害児者への支援について伺います】

問2 あなたの学校には、発達障害もしくはその可能性がある生徒・学生が在籍していますか。

- 1) 発達障害の診断を受けた生徒・学生が在籍している
- 2) 診断は受けていないが、発達障害の可能性のある生徒・学生が在籍している
- 3) 発達障害もしくはその可能性がある生徒・学生が在籍していた

【C 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その① 特性の理解）】

問3 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生について「感じ方（感覚）」や「周りのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」など（以下「障害特性」と記載）にどのような特性があるか、専門職の人（医師、発達障害に関する専門機関の職員等）などが調べた結果を把握していますか。

- 1) 把握している 2) 把握していない

↓

（副問） 1) 把握していると答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察（ ）
 ② ご本人及び関係者への聞き取り（ ）
 ③ 関係機関からの情報の引継ぎ（ ）
 ④ その他（ ）

問4 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生について心理学的な検査を行い、支援に活用していますか。

- 1) 行っている 2) 直接行っていないが、検査結果を活用している 3) 活用していない

↓ （※1、2と答えた方とも以下に回答）

（副問） 1) どのような検査を活用していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 日常生活における困難と要支援度の評価

MSPA（ ）

- ② 知能検査・発達検査

WISC（学齢期）（ ）、WAIS（成人期）（ ）、田中ビネー検査（ ）、

K式発達検査（ ）、K-ABC（ ）、DN-CAS（ ）、遠城寺式乳幼児発達検査（ ）、

ポーターズプログラム（ ）

- ③ 適応行動（生活能力）のアセスメント

Vineland 適応行動尺度II（ ）、S-M社会生活能力検査（ ）、

ASA 旭出式社会適応スキル検査（ ）

- ④ 情緒と行動のアセスメント

SDQ（ ）、CBCL（ ）

異常行動チェックリスト日本語版 ABC-J ()、日本語版感覚プロフィール ()

⑤ 自閉症スペクトラムのアセスメント

M-CHAT ()、PARS ()、CARS ()、ADOS ()、AQ テスト ()
PEP - 3 ()、TTAP ()、ADI-R ()

⑥ その他のアセスメント

ADHD-RS ()、CAARS ()、LDI-R ()、全国標準学力検査 CRT ()、
音読検査 ()、言語学習能力検査 ITPA ()、PVT - R 絵画語彙検査 ()、
ミラー幼児発達スクリーニング検査 JMAP ()、日本版感覚統合検査 JPAN ()

【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その② 日常生活について)】

問5 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察 ()
- ② ご本人及び関係者への聞き取り ()
- ③ 関係機関からの情報の引継ぎ ()
- ④ その他 ()

問6 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性に対して、何らかの「手立て」を行っていますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ① これから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで予定を示している。()
- ② スケジュールに変更が生じるときには、事前に個別に確認している。()

- ③ 意思疎通に、コミュニケーションカードや具体物の提示、筆談、通信機器などを用いている。()
- ④ 着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。()
- ⑤ 日常生活動作や作業の手順表を作り、使うものを順番に並べるなど工夫している。()
- ⑥ 作業を細かく区切り、都度休憩を入れる、目標の達成状況を確認するなど工夫している。()
- ⑦ 不注意によるミスを防ぐため、手帳やメモに記録を取り、都度見返すように支援している。()
- ⑧ 物音や光など苦手な刺激を避けるため、イヤーマフや特別なメガネなどを用いる工夫をしている。()
- ⑨ 疲れたり調子が悪い時などに、一人で過ごすことが出来る場所（カームダウンエリア）を用意している。()
- ⑩ できないことや苦手なことは人に頼む、サービスを利用するなど得意なことに集中するようにしている。()
- ⑪ 周り（社会）とうまく関わるため、共同作業の進め方や周りの人への伝え方などの練習を行っている。()
- ⑫ 辛いときに休憩し、手助けを求められるように、自分の障害特性を周りの人に伝えるよう支援している。()
- ⑬ その他()

副問－2 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

主にどのようなツールを使っていますか。当てはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1) コミュニケーションカード（イラスト・写真・文字を含む）
- 2) 筆談（イラスト・写真・文字の使用を含む）のための用紙
- 3) スケジュールボード、カレンダー、スケジュール手帳
- 4) スマートフォンやタブレット端末
- 5) パソコン

- 6) VOCA (音声を出力するコミュニケーション機器)
- 7) タイムタイマー (時間の経過を視覚的に伝える機器)
- 8) イヤーマフ (周囲の音を遮断するためのヘッドホン)
- 9) サングラス (光の刺激を抑えるための眼鏡)
- 10) その他 ()

副問-3 日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

- 1) はい
- 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

どのようなことに難しさを感じますか。3つまで選んで○をつけてください。

- 1) 正しいやり方がわからない
- 2) やり方の相談に応じ、指導してくれる人がいない
- 3) 毎日のことなのでついおっくうになる
- 4) 道具やコミュニケーションカードなどを準備する時間がない
- 5) 行動に変化がなく、効果があるかどうかわからない
- 6) 他の人と違った対応を行うことに抵抗がある
- 7) 言葉で話しても伝わらないことがあります、気が進まない
- 8) その他 ()

【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その③ 支援体制について)】

問7 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生が日常生活を送るうえで必要な「手立て」について、医療・福祉・教育・雇用(労働)など関係機関と連携して取り組んだことがありますか。

- 1) ある
- 2) ない

↓

(副問) 2) ないと答えた方におたずねします。

今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んで○をつけてください。

- 1) 今後、関係機関と連携して取り組みを行う予定である
- 2) 特に予定はない
- 3) 取り組みたいが、実際にどうすればよいか分からない

【最後に発達障害者支援に関するご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください】

以上で終わりです。長い時間、ご協力ありがとうございました。